

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり)

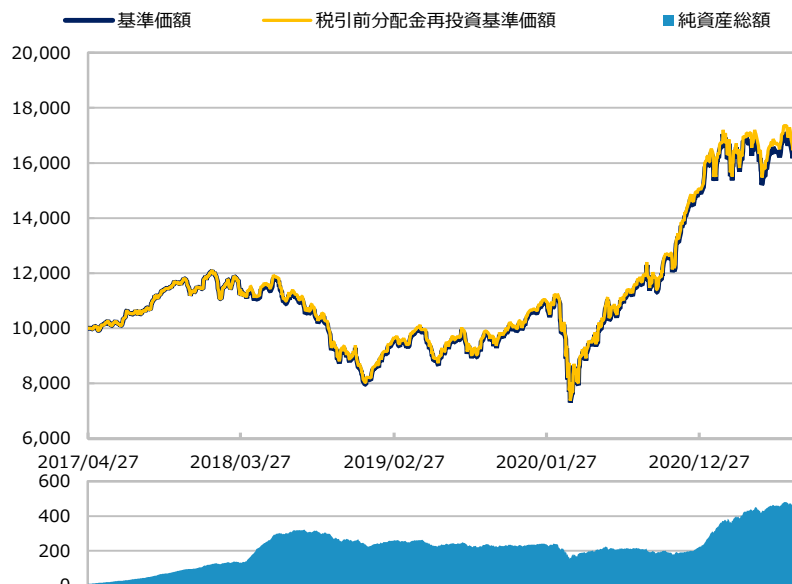
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／株式

作成基準日：2021年07月30日

ファンド設定日：2017年04月28日

日経新聞掲載名：G自動運転有

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	17,123	+75
純資産総額 (百万円)	47,356	-666

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2021/06/30	0.4
3 カ月	2021/04/30	2.2
6 カ月	2021/01/29	10.7
1 年	2020/07/31	53.6
3 年	2018/07/31	56.9
設定来	2017/04/28	74.3

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第1期	2018/04/10	100
第2期	2019/04/10	0
第3期	2020/04/10	0
第4期	2021/04/12	150
設定来累計		250

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	97.7	+0.9
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0	+0.0
現金等	2.3	-0.9
合計	100.0	0.0

為替ヘッジ比率	99.9	-0.1
為替ヘッジコスト	0.2	-0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「オートノマス・ピークル・ファンド(JPYヘッジクラス)」です。
 ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。為替ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1カ月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。為替ヘッジ比率と為替ヘッジコストはニューバーガー・バーマン・グループのデータを基に記載しております。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

運用概況

当月末の基準価額は、17,123円(前月比+75円)となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+0.4%となりました。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)

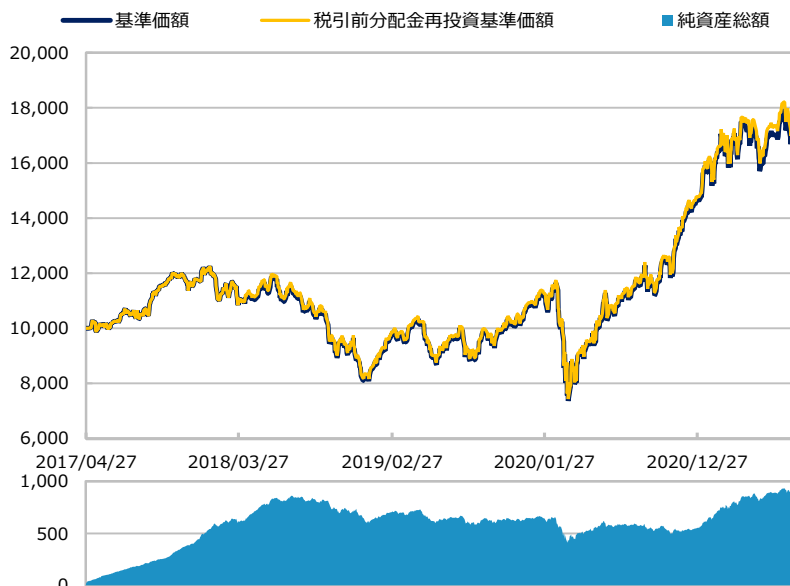
【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

ファンド設定日：2017年04月28日

日経新聞掲載名：G自動運転無

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	17,732	-43
純資産総額 (百万円)	91,867	-1,070

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2021/06/30	-0.2
3 カ月	2021/04/30	2.9
6 カ月	2021/01/29	15.8
1 年	2020/07/31	60.9
3 年	2018/07/31	60.8
設定来	2017/04/28	80.5

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第1期	2018/04/10	100
第2期	2019/04/10	0
第3期	2020/04/10	0
第4期	2021/04/12	150
設定来累計		250

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	98.3	+1.0
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0	+0.0
現金等	1.7	-1.0
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「オートノマス・ビークル・ファンド(JPYアンヘッジクラス)」です。

運用概況

当月末の基準価額は、17,732円 (前月比-43円) となりました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、-0.2%となりました。

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

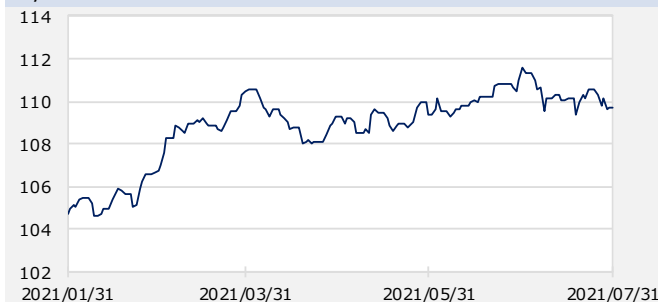
市場動向

MSCIオールカントリーワールドインデックス



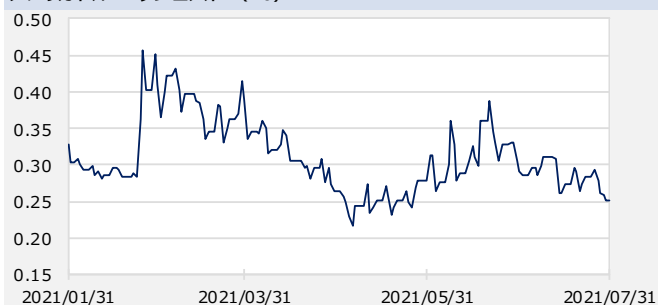
当月騰落率：0.7%

円/アメリカドル (円)



当月末：109.8 前月末：111.0 騰落率：-1.1%

アメリカドル ヘッジコスト (%)



当月末：0.25% 前月末：0.31% 変化幅：-0.05%

- ※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。
- ※ 為替レートはWMリフィニティブが発表するスポットレートの仲値です。
- ※ ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートをを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」について、ニューバーガー・バーマン・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
株式	96.3	-0.4
先物等	0.0	0.0
現金等	3.7	+0.4
合計	100.0	0.0

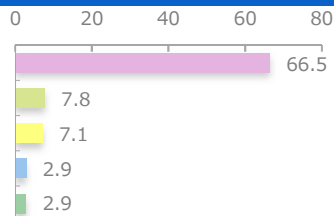
規模別構成比率 (%)

	当月末	前月比
大型株	74.2	+2.3
中型株	16.7	-4.5
小型株	5.3	+1.8
合計	96.3	-0.4

※ 規模別分類はニューバーガー・バーマン・グループによる分類です。

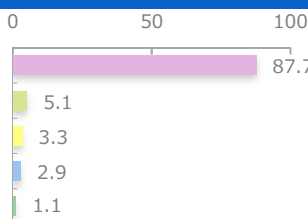
組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	66.5	-0.6
2 中国	7.8	-0.4
3 オランダ	7.1	+0.1
4 フランス	2.9	+0.2
5 日本	2.9	+0.2



組入上位5通貨 (%)

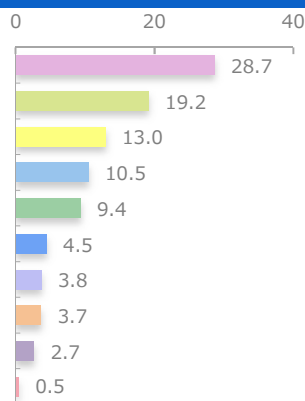
	当月末	前月比
1 アメリカドル	87.7	-0.5
2 ユーロ	5.1	+0.2
3 香港ドル	3.3	-0.2
4 日本円	2.9	+0.2
5 中国元	1.1	+0.3



※ 為替ヘッジ前の値です。

組入上位10業種 (%)

	当月末	前月比
1 半導体・半導体製造装置	28.7	-0.5
2 テクノロジ・ハードウェア・機器	19.2	-0.2
3 資本財	13.0	+0.3
4 自動車・自動車部品	10.5	-0.3
5 ソフトウェア・サービス	9.4	+0.5
6 素材	4.5	-0.4
7 運輸	3.8	-0.1
8 小売	3.7	-0.0
9 電気通信サービス	2.7	+0.3
10 メディア・娯楽	0.5	+0.0



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「オートノマス・ビークル・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」について、ニューバーガー・バーマン・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄 (%)

(組入銘柄数 50)

銘柄	国・地域/業種/自動運転に関連する技術	比率	コメント
1	ディア アメリカ / 資本財 スマート農業	3.6	米国の農機メーカー大手。GPS（全地球測位システム）やAI（人工知能）、センサー等を活用した自動運転機能を搭載したスマート農機の開発で先行。
2	トリンプル アメリカ / テクノロジ・ハードウェア・機器 GPS（全地球測位システム）	3.4	位置情報を取得する際に活用されるGPS（全地球測位システム）を提供する企業。自動車産業においては、車の位置や稼働状況をリアルタイムで把握するためにGPSが活用されており、同社製品も幅広い企業に納入実績を有している。
3	アンフェノール アメリカ / テクノロジ・ハードウェア・機器 車載コネクタ	3.3	車載コネクタや車載アンテナ、センサー等、幅広いインターコネクト製品を扱う。自動車に電子部品を搭載する際に耐振動性、耐熱性、耐環境性を備えたコネクタは必須であり、自動車の電装化を支える黒子役の位置づけ。
4	マイクロン・テクノロジー アメリカ / 半導体・半導体製造装置 半導体メモリ	3.3	米国の半導体企業。自動運転車の頭脳にあたるAI（人工知能）システムに用いられる半導体メモリのリーディング・プレイヤー。
5	モロシック・パワー・システムズ アメリカ / 半導体・半導体製造装置 電源IC	3.2	電子機器の電圧を制御する電源IC（集積回路）を手掛ける米国の半導体メーカー。自動車に搭載されるさまざまな電子部品向けに電源ICを提供。
6	オートデスク アメリカ / ソフトウェア・サービス 製図・設計ソフト	3.2	製図・設計ソフトウェア大手の米国企業。現実世界の環境をデジタル空間に再現する「デジタルツイン」を応用した車両開発、生産ソリューションを提供。
7	アンシス アメリカ / ソフトウェア・サービス シミュレーションソフト	3.1	ソフトウェア企業。様々な産業にシミュレーション解析ソフトを提供。自動車産業向けには自動運転シミュレーションなどのソリューションで強みを発揮。企業買収を通じ自動運転シミュレーションの分野では業界で最も包括的なソリューション提供力を有するに至った。
8	ウーバー・テクノロジーズ アメリカ / 運輸 無人運転ライドシェア	3.1	米国のライドシェア大手企業。自動運転技術を活用したライドシェアサービスの開発に取り組む。無人運転化によりライドシェアの安全性、利便性の向上が期待される。
9	ASML オランダ / 半導体・半導体製造装置 半導体露光装置	3.1	半導体に回路パターンを焼き付けるための露光装置を提供する。露光装置は半導体の微細化に不可欠であり、自動運転技術の高度化を裏方として支える存在。
10	キャタピラー アメリカ / 資本財 無人重機	3.0	米国の重機メーカー。建設現場や鉱山開発で 사용되는重機・トラックにおけるグローバルリーダー企業。危険地域や遠隔地などで活用が見込まれる自律稼働型の重機を提供。

※ 自動運転に関連する技術はニューバーガー・バーマン・グループによる分類です。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「オートノマス・ビークル・ファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。
※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」について、ニューバーガー・バーマン・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場環境>

当月のグローバル株式市場は上昇しました。主要企業による4-6月期決算が良好な内容となり、底堅い企業業績に対する安心感がプラス材料となりました。一方で、多くの国や地域で新型コロナウイルス（デルタ型）の感染が拡大し、一部の都市で経済活動の制限を再度強化する動きが見られたことがマイナス材料となりました。また、中国政府がインターネット企業への規制強化や教育費抑制に向けた学習塾の非営利化といった措置を打ち出したことで、中国関連銘柄が下落する展開となりました。当月に米国で開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では、目立ったサプライズはなく、経済指標などデータを確認しながら慎重な政策運営を維持する方針が示されました。

こうした中、グローバルITセクターは相対的に堅調に推移しました。旺盛な需要が続く半導体関連企業を中心に、良好な決算発表が相次いだことが同セクターの追い風となりました。

<ポートフォリオ>

当月の基準価額は下落しました。運輸、自動車・自動車部品関連銘柄のマイナス寄与がテクノロジー・ハードウェアおよび機器関連銘柄のプラス寄与を上回りました。個別銘柄では、ライドシェア大手の米国企業、ウーバー・テクノロジーズ（運輸）の株価が下落しマイナス寄与しました。新型コロナウイルス（デルタ型）の感染拡大がライドシェア需要の減退につながるとの懸念から同社株価は軟調に推移しました。一方、電子機器の電圧を制御する電源ICを手掛ける米国企業、モノリシック・パワー・システムズ（半導体・半導体製造装置）の株価が上昇しプラス寄与しました。車載向けをはじめとした旺盛な半導体需要を背景に市場予想を上回る決算と業績見通しを発表したことが、同社株価の追い風となりました。

ポートフォリオでは、電圧や電流等の制御を担うアナログ半導体を手掛ける米国企業、マキシム・インテグレートッド・プロダクツ（半導体・半導体製造装置）の新規組入れを実施しました。電気自動車のバッテリーや先進自動運転支援システム向け集積回路など、自動車の電気系統向けにさまざまな半導体を提供する同社の成長余地は大きいと判断し、新規組入れを実施しました。一方で、アナログ半導体を手掛ける米国企業、アナログ・デバイセズ（半導体・半導体製造装置）については、相対的な割安度合いが低下したことから一部売却を実施し、新規組入れ銘柄の購入原資としました。

<今後の見通し、運用方針>

新型コロナウイルス（デルタ型）の感染拡大に加え、中国政府による規制リスクに対する警戒感が強まっている

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」について、ニューバーガー・バーマン・グループから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

ものの、世界経済の足取りは底堅いといえます。米国においては、雇用の改善を背景にFRB（米連邦準備制度理事会）によるテーパリング（量的緩和の段階的縮小）が既定路線と見られています。また、8月に入り、英国イングランド銀行のベイリー総裁が、金融緩和政策の将来的な出口戦略について言及しました。このように主要国の中央銀行がコロナ禍で導入された金融緩和政策の縮小に向けた議論を進展させる中、「金余り」によって実力以上に過大評価されていた銘柄の株価が逆風に晒される可能性があります。こうした環境においては、徹底した企業分析に裏付けられた銘柄選択に基づくアクティブ運用の重要度が高まるものと考えます。当月においては、米国の半導体メーカー、インテル傘下のモバイルアイが米国ニューヨーク市において自動運転車の試験走行の認可を取得したと発表しました。多数の車両や歩行者が複雑に通行するニューヨークにおける実証実験により、自動運転技術の一段の進化が期待されます。また、EU（欧州連合）は2035年にハイブリッド車を含む内燃エンジン車の販売を実質的に禁止する方針を表明しました。実現に向けては加盟国間の調整を残すものの、メルセデスベンツを手掛けるダイムラーが、2025年以降に投入する新車については全て電動車とする方針を発表するなど、自動車メーカーは政策対応を加速させています。このように、自動運転、EV（電気自動車）を巡っては、技術革新と政策推進が両輪となって進展しており、関連技術を手掛ける企業の業績の追い風になるものと期待されます。

引き続き、新型コロナウイルスと経済活動を巡る状況を注意深くモニタリングしつつ、自動車生産や技術開発動向に注目し、積極的な運用を行っていく方針です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

ファンドの特色

- 自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。
 - 自動運転の実現に必要な技術を持つ企業に着目します。
 - ※自動運転とは
ドライバー（人間）が行っている様々な運転操作をシステムが行うことを指します。
 - 実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
 - ※投資対象とする外国投資信託の運用は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー（米国）が行います。
 - （為替ヘッジあり）と（為替ヘッジなし）の2つのファンドからお選びいただけます。
 - （為替ヘッジあり）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全な為替変動リスクを回避することはできません。
 - （為替ヘッジなし）
実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

「為替ヘッジあり」については、実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行うため、為替の変動による影響は限定的と考えられます（ただし、完全な為替変動リスクを回避することはできません。）。

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

投資リスク

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
 - 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
 - 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 特定業種・テーマへの集中投資に関する留意点
ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
 - 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

信託期間

2024年4月10日まで（2017年4月28日設定）

決算日

毎年4月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- 香港の取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日
- ロンドンの銀行の休業日

スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.30% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年1.243% (税抜き1.13%)**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、**年1.903% (税抜き1.79%) 程度**となります。ただし、投資対象とする投資信託の運用管理費用は、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第6号	○		○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第67号	○		○	○		※1
池田泉州 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第370号	○					
今村証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第3号	○					
a u カブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第61号	○		○	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第6号	○					
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○		
OKB証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第191号	○					※1
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第52号	○		○	○		
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第169号	○					
岡地証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第5号	○		○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商) 第3号	○					
木村証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第6号	○					
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2938号	○					
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第77号	○	○		○		
静岡東海証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第8号	○					
十六 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第188号	○					
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第128号	○					
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長 (金商) 第6号	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第140号	○	○		○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第121号	○	○				
南都まほろば証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第25号	○					
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商) 第75号	○					
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第142号	○	○	○	○		
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第21号	○		○			
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第1977号	○					
播陽証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長 (金商) 第29号	○					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第152号	○		○			
フィリップ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第127号	○			○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	○		
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商) 第20号	○					
三菱 U F J モルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第2336号	○	○	○	○		

備考欄について

※1：「グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」のみのお取扱いです。

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	登録種別	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第105号	○	○				
明和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第185号	○					
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第1771号	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第8号	○					
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第43号	○			○		
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第1号	○					※1
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第3号	○			○		※1
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第7号	○			○		
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第10号	○			○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第6号	○					
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○			○		※1
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第3号	○					
株式会社大光銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第61号	○					
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第47号	○			○		
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第17号	○					
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第11号	○					
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第1号	○					
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第7号	○					
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第15号	○					
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長 (登金) 第5号	○			○		
株式会社福井銀行	登録金融機関	北陸財務局長 (登金) 第2号	○			○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第7号	○			○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第624号	○			○		
株式会社三菱UFJ銀行 (仲介)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第5号	○	○		○		※2
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第5号	○					※1
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第12号	○					※1 ※3
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第41号	○					
みずほ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第34号	○		○	○		

備考欄について

※1：「グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジなし)」のみのお取扱いとなります。※2：委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 (インターネットトレードのみ) ※3：ネット専用

グローバル自動運転関連株式ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 内外 / 株式

作成基準日：2021年07月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント